

ドイツ語オンライン授業 —大学教員の悪戦苦闘— 1年間を振り返って

神谷善弘(大阪学院大学)
ykamiya@ogu.ac.jp

1. はじめに

発表者は、2020年7月5日に開催された第1回 JACTFL オンラインシンポジウムにて「ドイツ語オンライン授業—大学教員の悪戦苦闘—」というタイトルで、大阪学院大学 2020 年度前期開講の共通科目「ドイツ語入門Ⅰ」における教育支援システム(OGU-Caddie)及び YouTube を利用した〈オンデマンド型授業〉に関する中間報告を行った。

今回の発表では、後期開講の「ドイツ語入門Ⅱ」〈オンデマンド型授業+対面授業〉の報告も加え、授業評価の結果も踏まえて1年間を振り返り、次年度以降への展望を考える。

2. 授業の概要

105分授業を週2回(月2・木1)

教科書:秋田、江口、神谷、他『イン・ドイチュラントードイツ語インフォメーション 映像付—』(朝日出版社)

朝日出版社のご厚意により、学生が音声と映像をダウンロード可になり、通信料の削減に!

教科書3課までのPDFファイルの提供も(教科書のネット販売が5月)

「ドイツ語入門Ⅰ」は教科書の前半部を扱い、「ドイツ語入門Ⅱ」:教科書の前半部の復習と後半部を扱う

履修者数は「ドイツ語入門Ⅰ」40名、「ドイツ語入門Ⅱ」38名

3. 授業の流れ

4月10日~5月2日の授業(OGU-Caddie)

「アルファベット」「あいさつ」「数詞」を繰り返し視聴し、ドイツ語の発音に慣れ親しむ

1課と2課の《ドイツ語字幕付》及び《字幕なし》を繰り返し視聴し、会話の内容を類推する

5月7日~7月15日の授業(OGU-Caddie+YouTube)

授業動画の限定公開、発音・語彙・文法等の説明、練習問題の解答を提示、小テストの実施

10月1日~1月25日の授業(OGU-Caddie+YouTube+月に2回の対面授業)

授業動画の限定公開、発音・語彙・文法等の説明、練習問題の解答を提示、小テストの実施

対面授業では発音練習や文法の説明、ドイツ語圏文化の映像等を鑑賞

4. YouTube 授業動画(合計110本)

4月中旬:撮影の練習、3~4年次ゼミ生や卒業生に視聴してもらい、アドバイスをもらう!

4月下旬:撮影・編集の開始、5月上旬:限定公開でアップロードの開始

撮影時に注意したこと:①ゆっくりとはっきりと話す!②アクションも取り入れる!③発音練習では間が大切!

④10分程度で終わる!⑤長くても15分未満!

5. 授業評価

「授業に満足している」「授業の内容に興味を持っている」「知識や能力を得ることができた」「担当者は熱意をもって授業にのぞんでいた」「担当者は、学生の理解度を確認しながら授業を進めた」というような項目に関して5段階評価で行われた。回答率は低かったが、概ね好評であった。

対面授業では記述式の感想文も書いてもらったので、その内容も本発表で紹介する予定である。

6. まとめ

YouTube 授業動画に関しては、原作、脚本、監督、主演、編集等の全てを一人でこなすのはとても大変であった。2020年度は遠隔授業という「教育実習」を経験している感覚であり、起きている時間はずっと遠隔授業のことを考えており、休みがない感じであった。そして、授業評価や学生の感想から鑑みると、ある程度の教育効果があったと自負している。

7. 今後の課題

2021年度前期開講の「ドイツ語入門Ⅰ」は全て対面授業で行われる予定である。しかしながら、2020年度と同じ教科書を用いるので、作成した YouTube 授業動画は、予習や復習に役立つこともでき、欠席者に視聴してもらうことも可能である。場合によっては、発展的な学習に関する新たな授業動画の作成に挑戦することも考えられるかもしれない。